



多彩な演目で観客を魅了！ 池田高吹奏楽部第55回定期演奏会

池田高校吹奏楽部第55代バンド(石本明生部長、部員5人)が12月15日、田園ホールで第55回定期演奏会を開催し、約220人の観客が多様な演目を楽しみました。

定期演奏会は昭和45年に第1回目が開かれてから今年で55回目を迎え、半世紀以上にわたり親しまれています。この日は、OG4人、本別高校吹奏楽部、足寄高校吹奏楽局、池田中学校吹奏楽部なども加わり、3部構成で行われました。



第1部のクラシカルステージでは、3校(池田・足寄・本別高)合同で出場した吹奏楽コンクール曲「飛鳥」などを演奏しました。第2部のファンステージでは、池田中学校と合同で「グレイテスト・シヨーマン」メドレーなどを演奏。第3部のダンス&プレー(ダンプレ)ステージでは、OGと共に「行くぜっ!怪盗少女」など12曲を披露しました。

会場からのアンコールに対し、石本部長は「毎日練習を繰り返してきたからこそ、今こうして自分なりに演奏することができました」と話し、ドリームズ・カム・トゥルーの「大阪L.O.V.E.R」の演奏を終えると、観客の皆さんから大きな拍手が送られました。

池田高2年生が 「ごみ分別ガイド」を英訳

池田高校(富永水学校長、生徒80人)で選択授業「英語探究」を履修する2年生10人が、町が配布する「ごみ分別ガイド」を外国人向けに英訳し、12月17日に同校で町への贈呈式が行われました。

この授業では、身近な刊行物を翻訳しようと同ガイドの英訳を企画。生徒たちは、単に翻訳作業を行うだけでなく、外国人の視点から分かりやすい表現に

なっているかを、ALT(外国語指導助手)や海外生活の経験がある高校魅力化推進員の野武隊員にアドバイスを受けながら、イラストを手描きするなど、より伝わるよう工夫して制作しました。

この日、安井町長と町職員が出席し、生徒から町長にガイドを贈呈。贈呈式を終えた高田一平さんは「外国人の方が地域とつながるきっかけになればうれしい」と話していました。



池田高で課題研究発表会 (11月24日)

総合学科の池田高校の3年生による「課題研究発表会」が同校で開催され、1・2年生や教職員、保護者らに授業で取り組んだ研究の成果を発表しました。

自らの進路を広く考える中で設定した課題解決の成果を発表し、1・2年生の今後の活動に役立てることを目的に、8グループに分かれて実施。

この日、「池田町魅力発信Project」「アプリ開発～池田高校の魅力発信～」「校内の居場所づくり～ホッと一息できるスペースを作りたい!～」など多彩なテーマで、プレゼンテーションを行いました。



池田町地域おこし協力隊 活動報告

のたけ あみ
高校魅力化推進員 野武 亜美

【活動：池田高校の魅力化の推進など】



こんにちは、今年8月に着任した高校魅力化推進員の野武です。池田高校では魅力あふれる授業がたくさんあり、「総合学科だからできる経験」は大人の私から見てもとてもうらやましく、もっと皆さんにお伝えしたいと思っています。

広報活動

池田高校のホームページは、平日毎日更新されています！私も月に14本ほどの記事を投稿しており、授業や課外活動など、生徒たちのさまざまな取り組みをお伝えしています。

他にも協力隊のSNS(フェイスブック、Instagram) やラジオ出演など、同じく協力隊の井上隊員と共に、それぞれの得意分野を生かしながら広報活動に取り組んでいます。

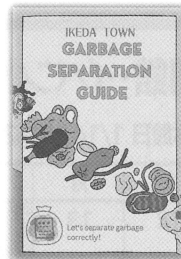
池田高校HP



海外・コーディネート活動

カナダ姉妹校交流事業でカナダを訪問する生徒と一緒に英会話レッスンを受けたり、海外での生活で得た知見を授業で話したり、異文化理解の授業のサポートなどを行っています。

また、町が配布する「池田町ごみ分別ガイド」を外国人向けに英訳し、デザインする授業をコーディネートしました。私はごみの分別が国によって異なることを体験してきたため、日本語を単に英訳するのではなく、異文化から来た外国人が知りたい情報を盛り込むように助言するなど、生徒たちの制作に協力しました。



池田高校でしかできない経験がたくさんあることを、今後もお伝えしていきたいと思います。



地域おこし協力隊の活動報告はこちら

